

クリップボード履歴 QTClip v2.6
マニュアル

2001 / 7 / 1

目次

1. QTClip とは	1	5.3. テキスト一覧上での右クリックメニュー - 21	
2. インストール (セットアップ)	2	5.4. クリップボード履歴一覧上での右クリ ックメニュー	21
2.1. ダウンロードして解凍	2	5.5. 設定ダイアログ	22
2.2. 解凍する	2	5.6. ホットキー設定ダイアログ	22
2.3. スタートアップへの登録	2	5.7. コマンドラインオプション	23
2.4. ショートカットの作成	2	6. その他	24
3. 起動 & 終了方法	3	6.1. 免責事項	24
3.1. 起動する	3	6.2. サポートについて	24
3.2. メインウィンドウを消す	4		
3.3. QTClip を終了させる	4		
3.4. アンインストール (削除) するには	5		
4. 使用方法	6		
4.1. システムメニュー	6		
4.2. 常駐アイコンの右クリックメニュー	6		
4.3. クリップボード履歴とは	7		
4.4. テキスト保管機能とは	7		
4.5. テキスト一覧にテキストをコピー	8		
4.6. テキスト一覧からアプリへ貼り付けす る	8		
4.7. クリップボード履歴一覧からアプリへ 貼り付けする	9		
4.8. クリップボード履歴の内容を連続して 貼り付ける	9		
4.9. クリップボード履歴一覧をテキストフ ァイルに保存する	10		
4.10. 一覧の表示順序を変える	10		
4.11. ポップアップメニューで文字入力する 11	11		
4.12. テキスト保管 2 で貼り付ける	12		
4.13. 貼り付け時に引用符を付けたい	13		
4.14. ポップアップメニューを変更する	14		
4.15. ポップアップメニューの設定例	15		
4.16. QTClip をすぐに表示したい	16		
4.17. 一覧のテキスト内容を確認したい	16		
4.18. メインウィンドウの表示を変更する 17	17		
4.19. 一覧のフォントを変更する	18		
4.20. よくある質問	19		
5. リファレンス編	20		
5.1. システムメニュー	20		
5.2. 常駐アイコンの右クリックメニュー	20		

1. QTClip とは

以下のことが可能です。

- 1 テキスト形式のクリップボード履歴
クリップボードにコピーされたテキストを記録します。うっかりコピーを繰り返しても以前のクリップボードの内容が残されています。
- 2 テキスト保管機能
後で利用できそうなテキストデータを保存しておく（ワープロでの短文登録のような機能）
OLE 2 ドラッグ&ドロップ対応のアプリケーション間で相互にドラッグ&ドロップ可能
- 3 ポップアップメニューでの他のアプリケーションへのテキスト貼り付け
他のアプリケーションで、メールアドレス、顔文字、入力の面倒な記号類などをポップアップメニューから選んで貼り付け
ランチャー機能もあり

動作環境

Windows 95
Windows 98
Windows ME
Windows NT 4.0
Windows 2000

2. インストール (セットアップ)

2.1. ダウンロードして解凍

<http://www2k.biglobe.ne.jp/~araken/>
<http://0ban.com/araken/>
からダウンロードできます。

lzh の解凍の方法を理解できている方は qtclip26.lzh を、何かわからない方は qtclip26.exe をダウンロードしてください。

2.2. 解凍する

qtclip26.lzh をダウンロードした場合は lzh を解凍するツールで適当なディレクトリ (フォルダ) に解凍してください。

qtclip26.exe をダウンロードした場合は、エクスプローラなどから qtclip26.exe をダブルクリックして実行すると自動的に解凍されます。

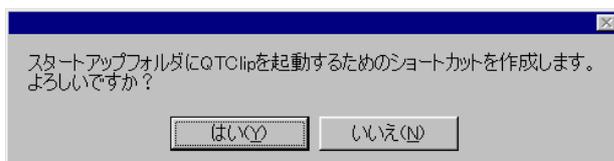
インストールするディレクトリは c:\%qtclip や、c:\program files\%qtclip など、好きなところで構いません。

2.3. スタートアップへの登録

Windows 起動と同時に QTClip を使用したいときはスタートアップに登録すると便利です。

setupQTClip.exe を実行すると、スタートアップに QTClip へのショートカットを登録します。

スタートアップに登録する必要がないときは setupQTClip.exe は実行しないでください。



登録したいときははいを、したくないときはいいえを選んでください。

2.4. ショートカットの作成

独自にショートカットを作成したいときは以下のような内容にします。



最小化にすると、メインウィンドウは表示されずに常駐アイコンのみ表示されます。

参照 QTClip 起動時の動作を変更するには
5.7コマンドラインオプション

3. 起動 & 終了方法

3.1. 起動する

qtxtclip.exe をダブルクリックして QTClip を起動してみましょう。

以下のようなウィンドウ (以後、メインウィンドウと呼びます) が出れば OK です。ただし、ショートカットからの起動で、実行時の大きさを最小化したときはこのウィンドウは出ません。

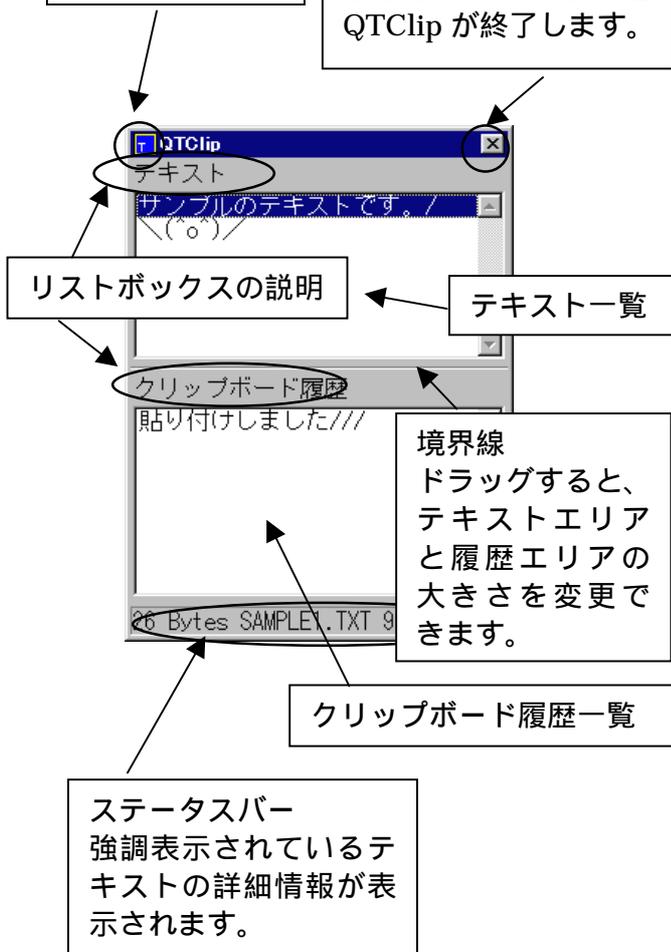
タスクバーには QTClip のアイコン (以後、常駐アイコンと呼びます) が表示されます。



このアイコンをクリックするとメインウィンドウが表示されます。

アイコン
クリックすると
システムメニ
ューが表示され
ます。

終了ボタ
ン
クリックすると、
QTClip が非表示状態
になります。Shift を押し
ながらクリックすると
QTClip が終了します。



ステータスバー
強調表示されているテ
キストの詳細情報が表
示されます。

3.2. メインウィンドウを消す

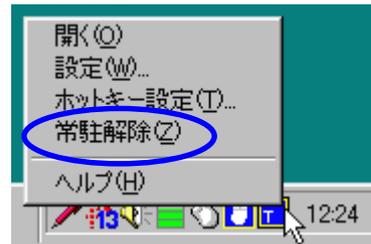
メインウィンドウがアクティブなときに **Esc** キーを押すか、右上の **X** ボタンを押すと、メインウィンドウが消されます。単にメインウィンドウが消されただけなので、常駐アイコンをクリックすればまた表示されます。

3.3. QTClip を終了させる

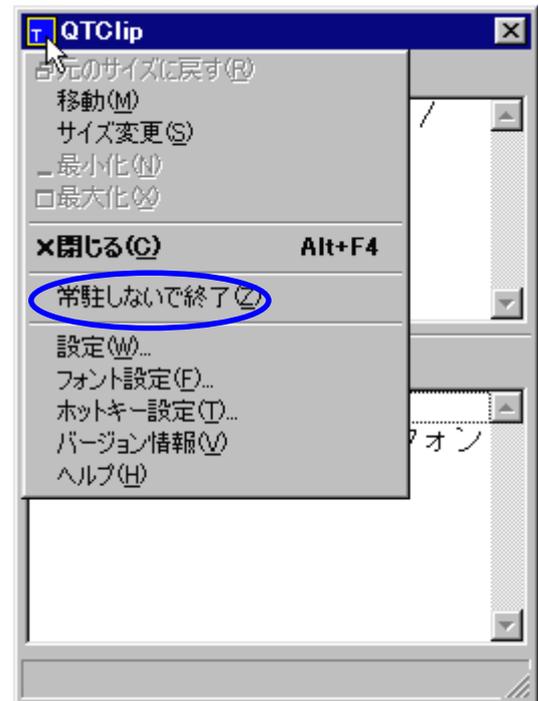
以下の方法で QTClip を終了できます。

(1)メインウィンドウがアクティブなときに **Shift** を押しながら **Esc** キーを押すか、**Shift** を押しながら右上の **X** ボタンを押す

(2)常駐アイコンを右クリックして、常駐解除を選ぶ



(3)システムメニューから 常駐しないで終了を選ぶ



3.4. アンインストール（削除）するには

QTClip をインストールしたものの、自分には必要ないソフトであると思ったらアンインストールしてください。

レジストリは使用していませんので、エクスプローラなどでインストールしたディレクトリごと削除するだけでアンインストールできます。

setupQTClip.exe を実行して、スタートアップにショートカットを登録した場合は、それも削除してください。

通常は

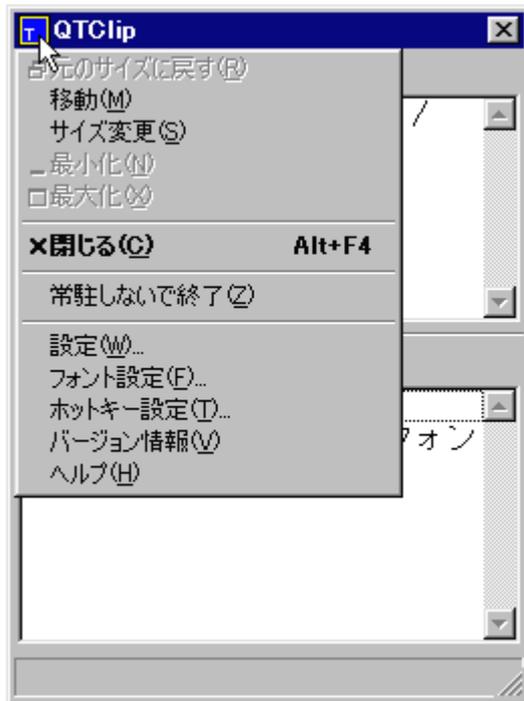
C:\WINDOWS\スタートメニュー\プログラム\スタートアップ
%qtclip.lnk
です。

setupQTClip.log には setup 時の内容が記録されています。

4. 使用方法

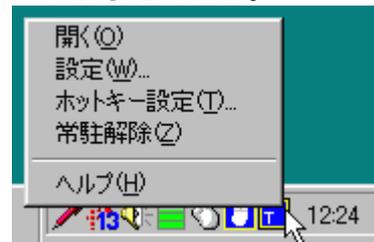
4.1. システムメニュー

QTClip 左上のアイコンをクリックすると、システムメニューが表示されます。



4.2. 常駐アイコンの右クリックメニュー

常駐アイコン上で右クリックすると、メニューが表示されます。



4.3. クリップボード履歴とは

アプリケーション(たとえばエディタ)で文字列をクリップボードにコピーすると、以前クリップボードにあったデータは消えてしまいます。

QTClip はクリップボードにコピーされたテキストデータの履歴を保存します。

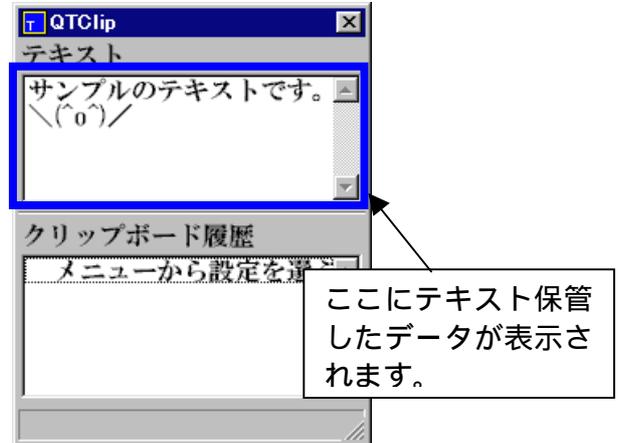


クリップボード履歴に保管する個数を変更するには

5.7コマンドラインオプション

4.4. テキスト保管機能とは

クリップボード履歴に保存されたデータは既定個数を超えると削除されます。永続的に使用したいデータはテキスト一覧に保存すると、削除されることはありません。



テキスト一覧にコピーされたテキストは、QTClip をインストールしたディレクトリ内の text というディレクトリに適切なファイル名で保存されます。

全く同じ内容のテキストを複数回コピーすることはできません。

テキスト一覧に保存する個数を変更するには
保存されるディレクトリの変更するには

5.7コマンドラインオプション

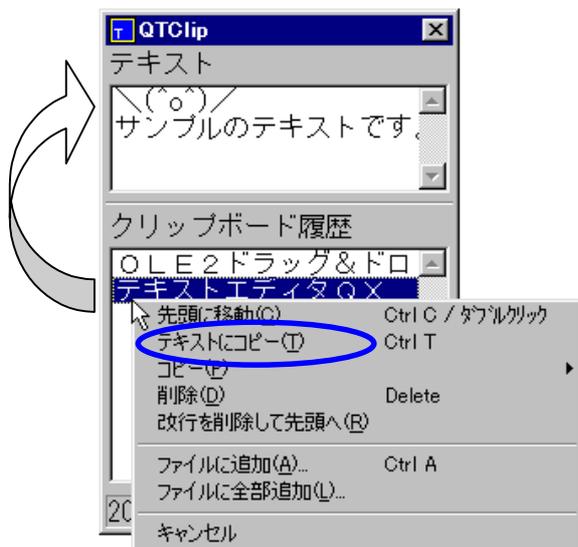
4.5. テキスト一覧にテキストをコピー

OLE 2ドラッグ&ドロップ対応のアプリケーションであれば、文字列をテキスト一覧にドラッグ&ドロップすることにより直接コピーすることができます。

OLE 2ドラッグ&ドロップ対応のアプリケーション
テキストエディタQX (v4.0以降)
一太郎 v7以降
ワードパッド
ヘルプ
ワード
エクセル
インターネットエクスプローラ
Netscape Navigator
など

OLE 2ドラッグ&ドロップ対応のアプリケーションでないときは、クリップボードを経由してコピーします。

アプリで、いったんクリップボードに文字列をコピーします。その後、QTClipのクリップボード履歴一覧のコピーしたいテキスト上で右クリック後、テキストにコピーを選ぶとテキスト一覧にコピーされます。

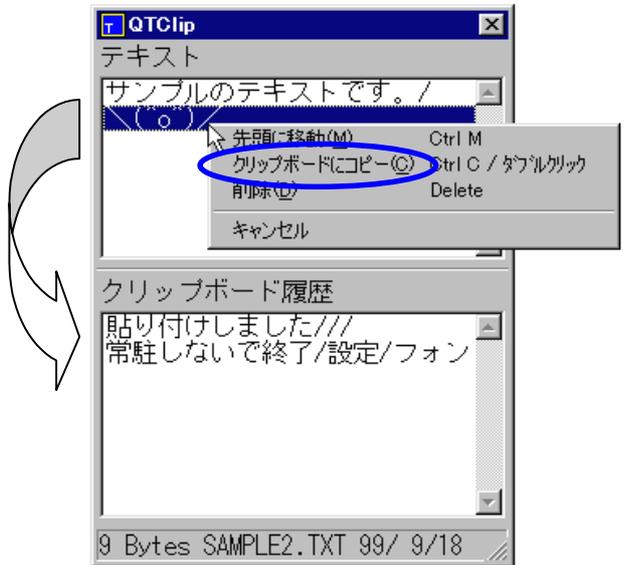


4.6. テキスト一覧からアプリへ貼り付けする

OLE 2ドラッグ&ドロップ対応のアプリケーションであれば、文字列をテキスト一覧からドラッグ&ドロップすることにより直接コピーすることができます。

OLE 2ドラッグ&ドロップ対応のアプリケーションでないときは、クリップボードを経由して貼り付けします。

QTClipのテキスト一覧のコピーしたいテキスト上で右クリック後、クリップボードにコピーを選ぶとクリップボードにコピーされます。その後、アプリで、貼り付けを実行します。

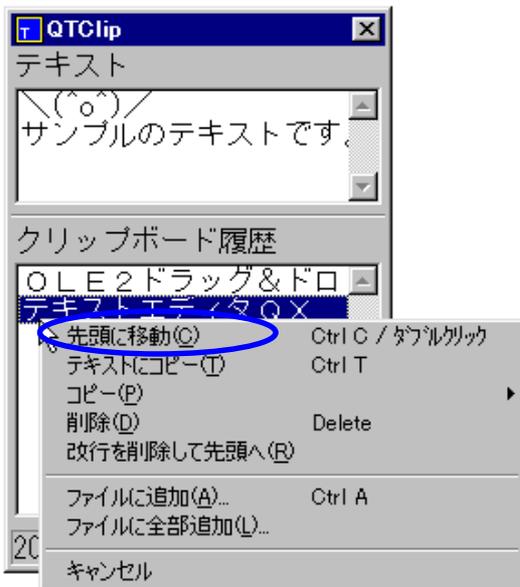


4.7. クリップボード履歴一覧からアプリへ貼り付けする

OLE 2ドラッグ&ドロップ対応のアプリケーションであれば、文字列をクリップボード履歴一覧からドラッグ&ドロップすることにより直接コピーすることができます。

OLE 2ドラッグ&ドロップ対応のアプリケーションでないときは、クリップボードを経由して貼り付けします。

QTClip のクリップボード履歴一覧の貼り付けしたいテキスト上で右クリック後、**先頭に移動**を選ぶとクリップボードにコピーされます。その後、アプリで、貼り付けを実行します。

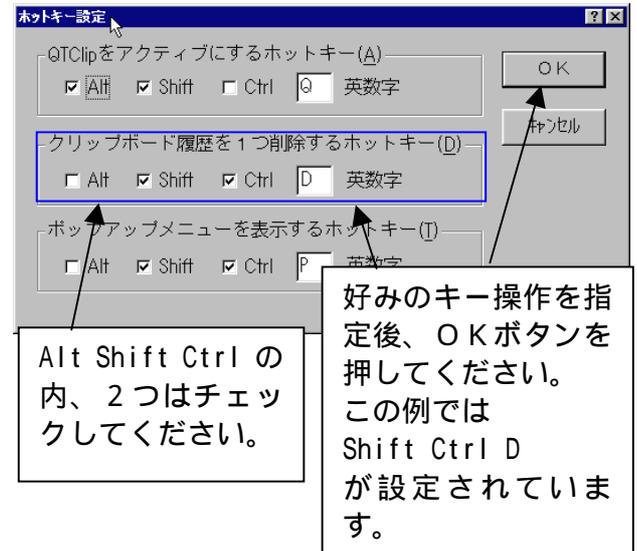


4.8. クリップボード履歴の内容を連続して貼り付ける

クリップボード履歴の内容を連続して貼り付けたい時に、メインウィンドウの操作で何回も繰り返すのでは大変面倒です。

貼り付け クリップボード履歴を1つ削除を繰り返すことにより、連続して貼り付けることができます。

メニューから**ホットキー設定**を選ぶと以下のダイアログが表示されます。



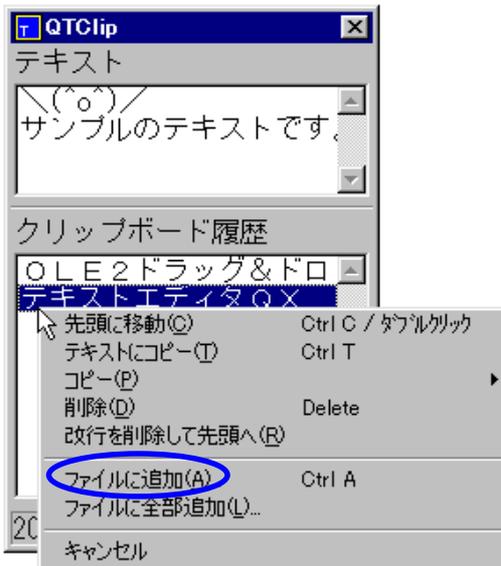
Shift Ctrl D と設定するとします。

例

メモ帳で、**Ctrl V**、**Shift Ctrl D** の入力を繰り返すと、クリップボード履歴の内容を連続して貼り付けられます。

4.9. クリップボード履歴一覧をテキストファイルに保存する

クリップボード履歴一覧上の保存したい項目上で右クリックするとメニューが表示されます。



ファイルに追加を選ぶと、以下のダイアログが表示されます。

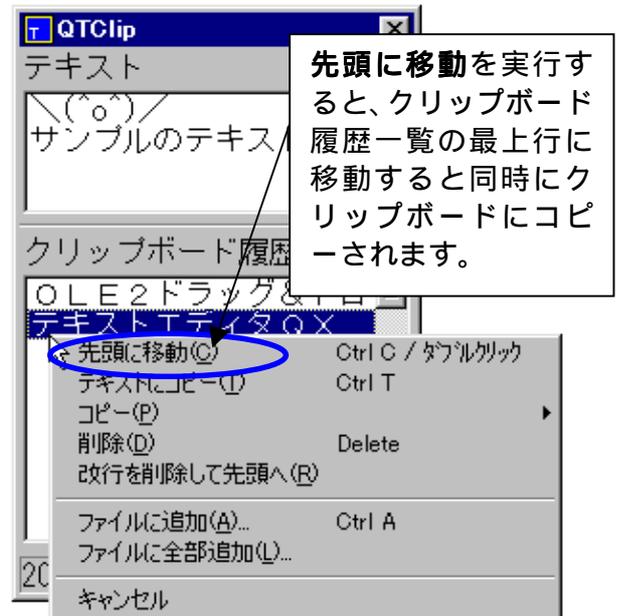
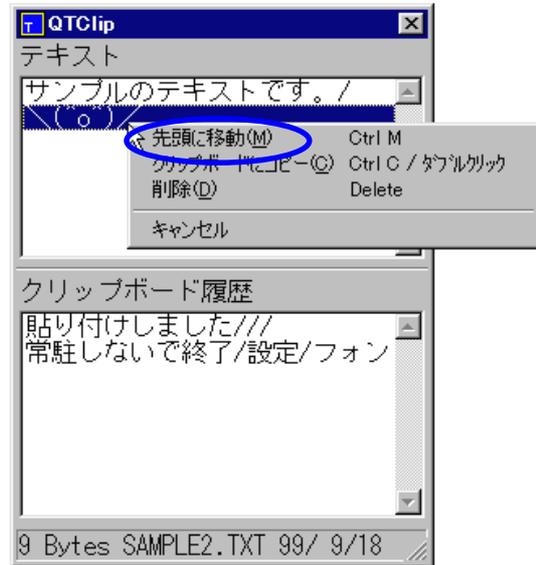


保存したいファイル名を入力すると、そのファイルに保存されます。追加保存されるため元のファイルの最後尾に追加されます。

ファイルに追加でなく、ファイルに全部追加を選ぶと、クリップボード履歴一覧すべてを保存します。

4.10. 一覧の表示順序を変える

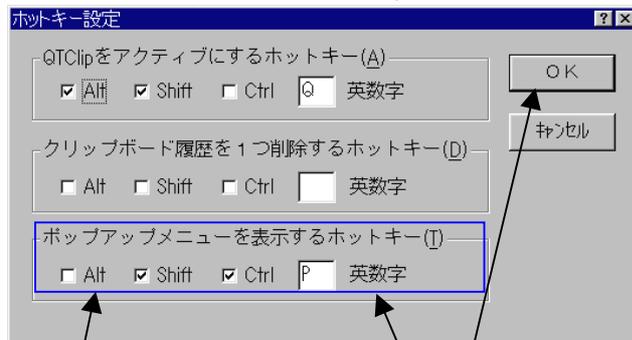
テキスト一覧、またはクリップボード履歴一覧で右クリックし、**先頭に移動**を選ぶと、その項目が1行目に移動します。



4.11. ポップアップメニューで文字入力する

ポップアップメニューを表示するにはまず、ホットキーを設定します。

メニューから**ホットキー設定**を選ぶと以下のダイアログが表示されます。



Alt Shift Ctrl の内、2つはチェックしてください。

好みのキー操作を指定後、OKボタンを押してください。この例では Shift Ctrl P が設定されています。

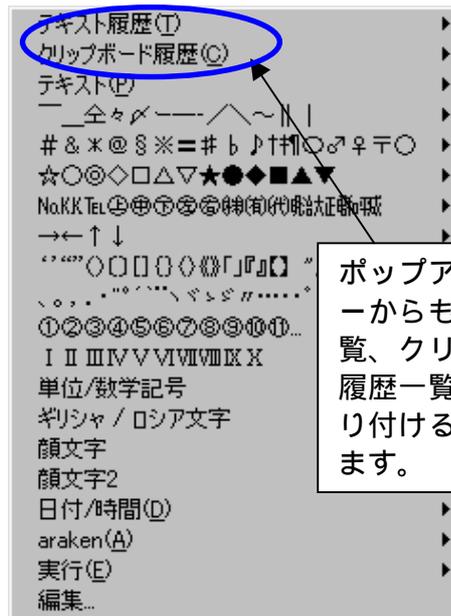
例 1

メモ帳などで、**Shift Ctrl P** を押すと、ポップアップメニューが表示され、選んだ文字がメモ帳に貼り付けられます。

例 2

どこでもホイール v2.5 以降の(全ウィンドウで共通の)キー設定で、Shift + クリック に Shift Ctrl P を設定します。

他のアプリケーションで、**Shift** を押しながらホイールクリックすると、QTclip のポップアップメニューが表示されます。



ポップアップメニューからもテキスト一覧、クリップボード履歴一覧の内容を貼り付けることができます。

ポップアップメニュー表示後、貼り付けたい文字列を選択して **Enter** を押すか、クリックすると、アプリケーションに貼り付けられます。

・貼り付けの動作について

ポップアップメニューで選択した文字列をクリップボードにコピー後、アプリケーションに **Ctrl V** を送ります。多くのアプリケーションでは、**Ctrl V** には、クリップボードを貼り付ける機能が割り当てられているため、貼り付けが実行されます。

Ctrl V を押しても貼り付けが実行されないアプリケーションでは、ポップアップメニューから直接貼り付けることはできません。その場合は、ポップアップメニューから選択するときに **Shift** を押し続けてください。クリップボードへのコピーのみを行い、**Ctrl V** の送出不行を避けます。

まとめると以下ようになります。

Ctrl V で貼り付けが実行されるアプリ

ポップアップメニューから選ぶだけで貼り付けられます

Ctrl V で貼り付けが実行されないアプリ

1 **Shift** を押しながらポップアップメニューから選びます (**Ctrl V** を押しても何も動作しないアプリの時は **Shift** を押す必要はありません)

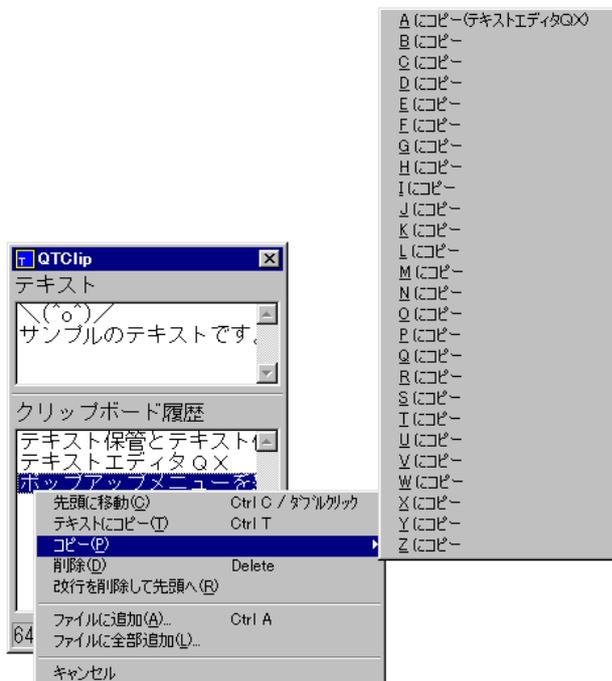
2 アプリでの貼り付け命令を実行します

4.12. テキスト保管 2 で貼り付ける

テキスト保管 2 はよく使う文字列をポップアップメニューからすぐに入力するための機能です。従来のテキスト保管機能はテキストを追加すると、新しい順に並ぶため、ポップアップメニュー内でのショートカットが変わってしまうため同じキー操作で貼り付けすることができませんでした。

・保管方法

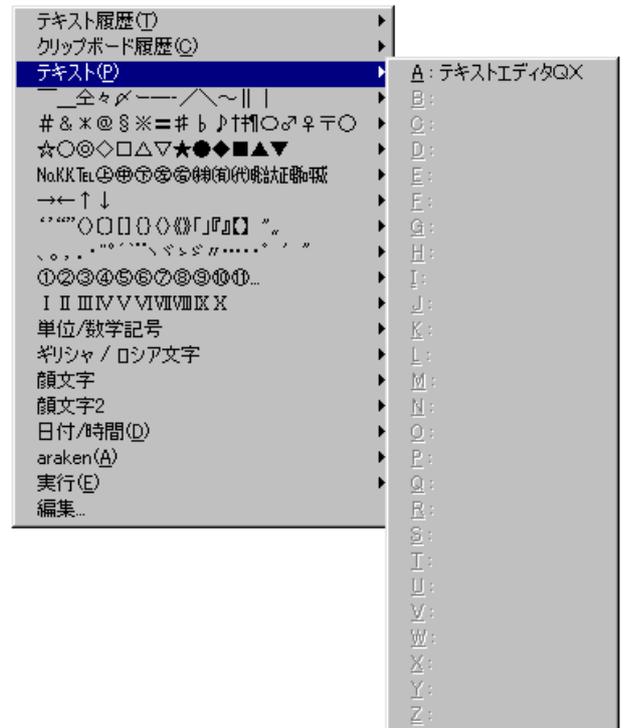
クリップボード履歴一覧で右クリックして、コピーを選ぶと A から Z までのメニューが表示されます。



好みの位置 (A ~ Z) を選んでコピーします。すでに登録されているところを選ぶと、上書きされ、以前の文字列は失われます。

・貼り付け方法

ポップアップメニューを表示させ、テキストを選ぶと、以下のようなメニューが表示されます。



テキスト保管とテキスト保管 2 の違い

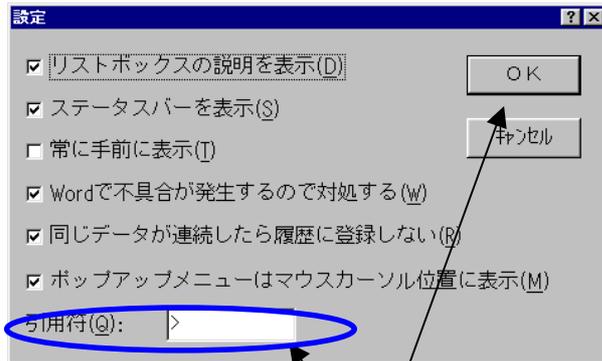
	テキスト保管	テキスト保管 2
アプリへの貼り付け	ポップアップメニュー一覧からドラッグ&ドロップ	ポップアップメニューのみ
保管できる個数	100個 オプションで変更可能	26個
テキストを追加すると	新しい順に一覧に格納される	指定した位置に格納される

4.13. 貼り付け時に引用符を付けたい

メールの文面に引用符を付けたいときがあります。

ポップアップメニューから貼り付けるときに **Ctrl** を押し続けてください。すべての行の行頭に引用符が付加されて貼り付けられます。

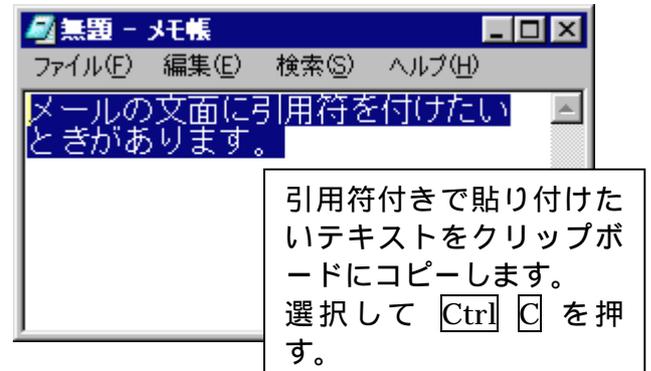
付加したい引用符は設定ダイアログで行います。



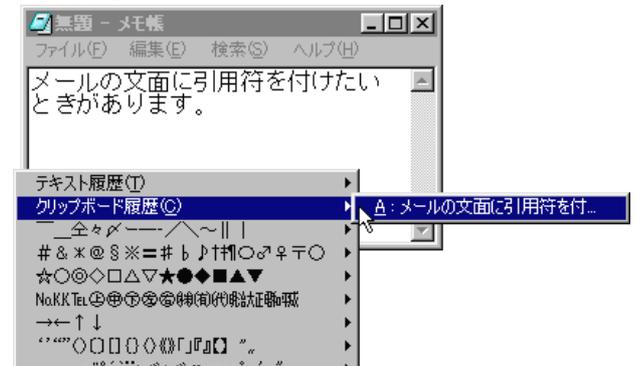
設定を変更するには、付加したい引用符文字列を入力して **OK** ボタンを押します。

以下はメモ帳での例です。

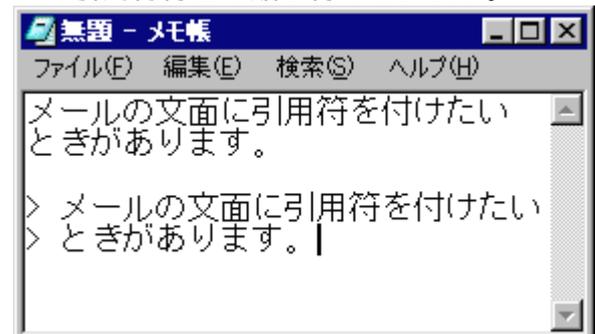
- 1 各アプリで、引用符を付けたいテキストをクリップボードへコピー



- 2 ポップアップメニューからクリップボード履歴の最初の項目を **Ctrl** を押しながら選択する



- 3 引用符付きで貼り付けられます。



4.14. ポップアップメニューを変更する

定義ファイルを変更することにより、ポップアップメニューで貼り付けられるテキストは自由に変更することができます。

定義ファイルのファイル名は qtclip.txt にして、qtxtclip.exe と同じディレクトリに入れて下さい。

通常の文字列入力は以下の書式です。

メニュー表示文字列<TAB>入力される文字列

<TAB>は “<TAB>” という 5 文字の文字列ではなく、**Tab** キーを押すことによって入力される文字のことです。

行頭に特定の文字をおくと、以下のような機能になります。

行頭におく文字	意味
<TAB>	コメント
-	セパレータ
>表示文字列	それ以降の行を階層化して表示
<	階層化を 1 段下げる
*<TAB>入力文字列	その行はすべて分割して表示
*T<TAB>表示文字列	テキスト一覧
*C<TAB>表示文字列	クリップボード履歴
*E<TAB>実行文字列	メニュー定義ファイルの編集(%1 はメニュー定義ファイル名で置き換えられる)
*EX<TAB>表示する文字列: コマンド文字列	任意のコマンド実行
改行のみの行	無視される

*EX の例

*EX<TAB>(&M)メモ帳:NOTEPAD

*EX<TAB>(&C)コントロールパネル:CONTROL

*EX は最大 100 個まで使用できます。

表示文字列中に &英数字 を入れると、アクセラレータになります。

(&A) あいうえおと記述すると、メニューには **A** あいうえおと表示され、**A** キーを押すと、この項目が選択されます。

入力される文字列中に ¥ で始まる書式文字列を入れておくと、現在の日付や時間に置き換えて入力されます。

書式文字	説明	入力される文字列例
¥a	曜日 (省略形)	Sun ~ Sat
¥A	曜日	Sunday ~ Saturday
¥b	月 (省略形)	Jan ~ Dec
¥B	月	January ~ December
¥d	日付	1 ~ 31
¥0d	日付	01 ~ 31
¥g	元号年	平成 13
¥H	時刻 (24 時間)	00 ~ 23
¥l	時刻 (12 時間)	01 ~ 12
¥m	月	1 ~ 12
¥0m	月	01 ~ 12
¥M	分	00 ~ 59
¥n	改行コード	
¥p	AM	PM
¥r	時刻 (12 時間)	10:12:30 AM
¥S	秒	00 ~ 59
¥t	タブ	
¥w	曜日	日 ~ 土
¥x	日付	2001/ 1/10
¥0x	日付	2001/01/10
¥X	時刻 (24 時間)	23:59:00
¥y	西暦 (下 2 桁)	95
¥Y	西暦	1995
¥¥	¥	¥そのもの

¥0d ¥0m ¥0x は ¥d ¥m ¥x と同じですが、1 桁のときは 0 を付加して 2 桁にします。

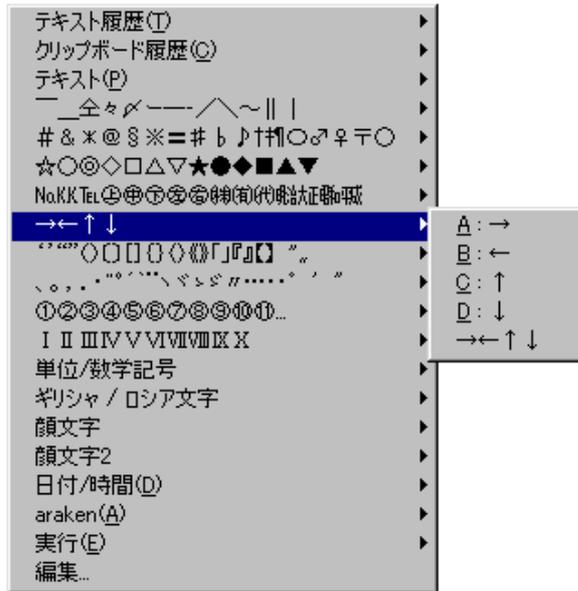
¥n, ¥t, ¥¥ は現在の日付、時間とは関係ありません。

4.15. ポップアップメニューの設定例

階層化・分割の例

```
>
*<TAB>
<
```

という定義にすると、以下のようなポップアップメニューになります。



```
>
```

で、階層化され、それ以降はサブメニューに表示されます。

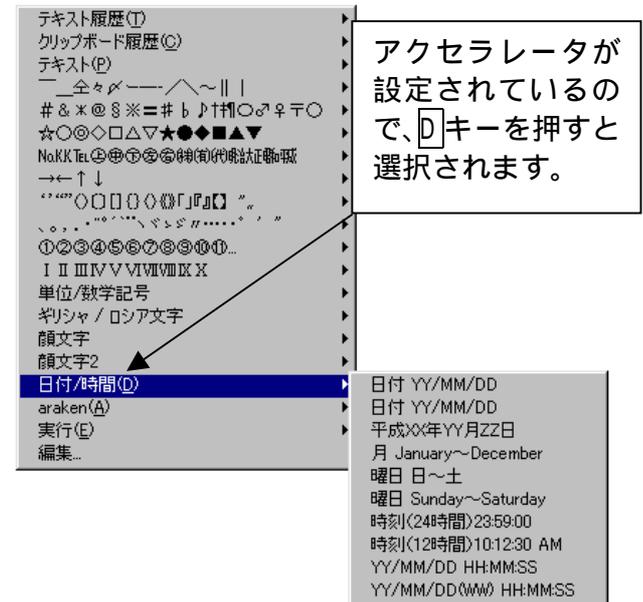
```
*<TAB>
```

で、 が4つに分割されます。

書式文字列を使用した例

```
>日付/時間(&D)
日付 YY/MM/DD ¥x
平成 XX 年 YY 月 ZZ 日 ¥g 年¥m 月¥d 日
月 January ~ December ¥B
曜日 日 ~ 土 ¥w
曜日 Sunday ~ Saturday ¥A
時刻 (24 時間) 23:59:00 ¥X
時刻 (12 時間) 10:12:30 AM ¥r
YY/MM/DD HH:MM:SS ¥x ¥X
YY/MM/DD(WW) HH:MM:SS ¥x(¥w) ¥X
<
```

という定義にすると、以下のようなポップアップメニューになります。

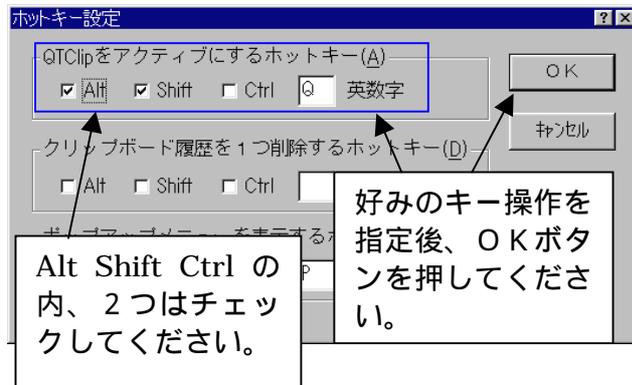


入力される文字列はそれぞれ以下ようになります。

```
1/ 1/14
平成 13 年 1 月 14 日
January
日
Sunday
09:53:03
09:53:06 AM
1/ 1/14 09:53:09
1/ 1/14(日) 09:53:12
```

4.16. QTClip をすぐに表示したい

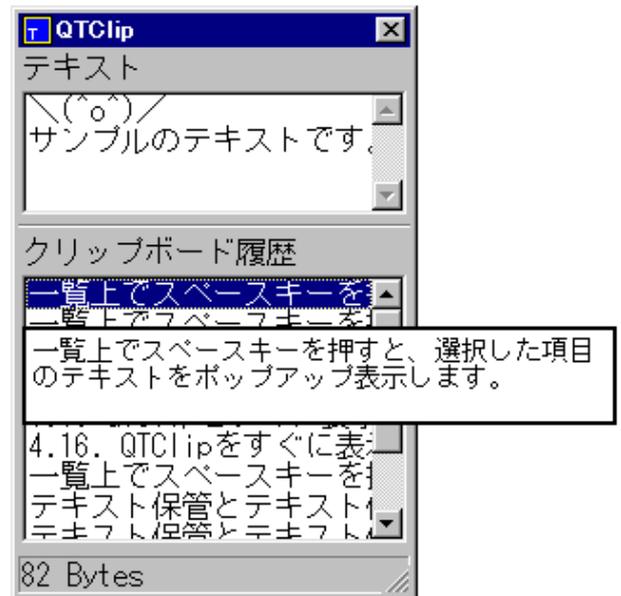
メニューからホットキー設定を選ぶと以下のダイアログが表示されます。



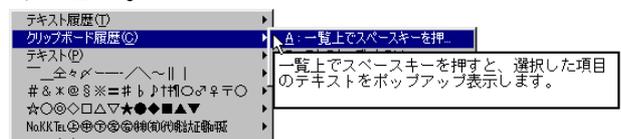
以上の設定を行うと、Shift Alt Q を入力すると、QTClip がアクティブ(メインウィンドウが表示)になります。

4.17. 一覧のテキスト内容を確認したい

一覧にはテキストの先頭付近しか表示されませんが、一覧上でスペースキーを押すと、選択した項目のテキストをポップアップ表示(プレビュー機能)します。



ポップアップメニューの時は右クリックしてください。



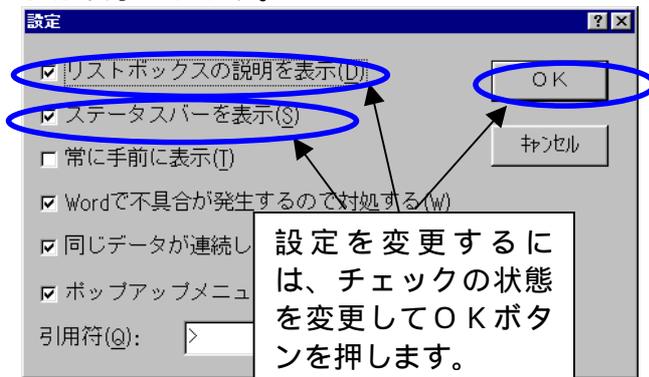
この機能を利用するためには、テキストエディタQX辞書引きキットが必要です。

<http://www.2k.biglobe.ne.jp/~araken/> より、**テキストエディタQX辞書引きキット**をダウンロードして、qtxtclip.exe のあるディレクトリに qxdic.dll をコピーしてください。

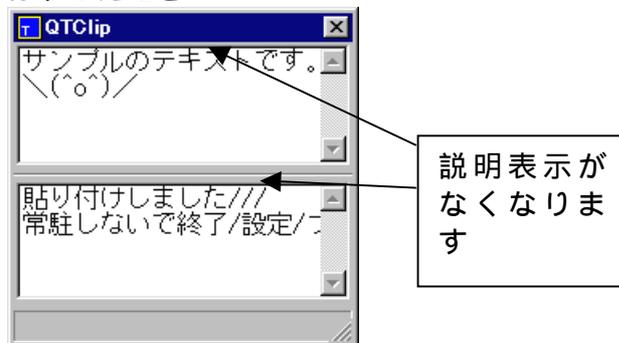
すでに、テキストエディタQX及び辞書引きキットをインストールしている場合はコピーする必要はありません。

4.18. メインウィンドウの表示を変更する

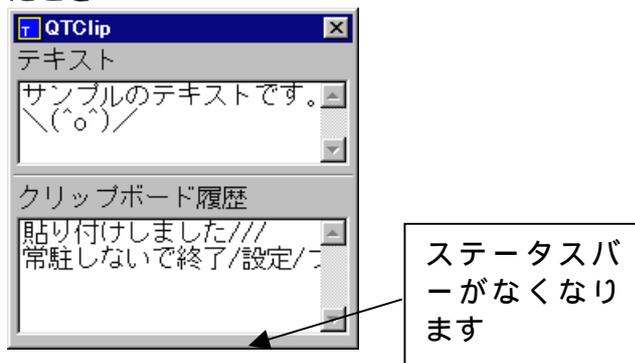
メニューから設定を選ぶと以下のダイアログが表示されます。



「リストボックスの説明を表示」のチェックをはずしたとき



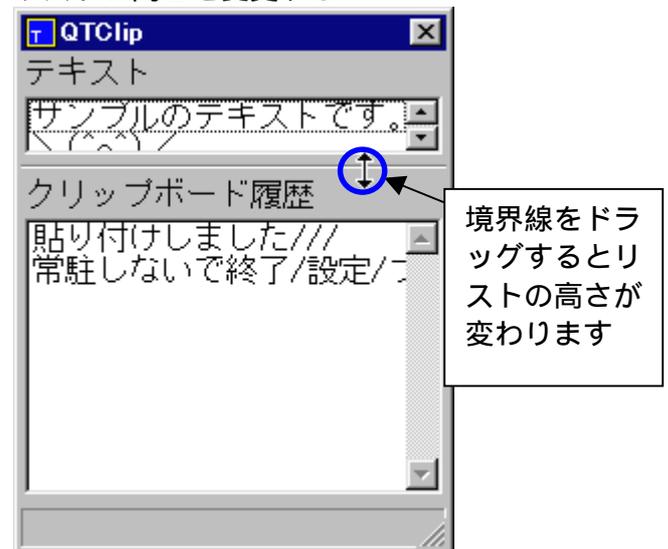
「ステータスバーを表示」のチェックをはずしたとき



「リストボックスの説明を表示」、「ステータスバーを表示」の両方のチェックをはずしたとき

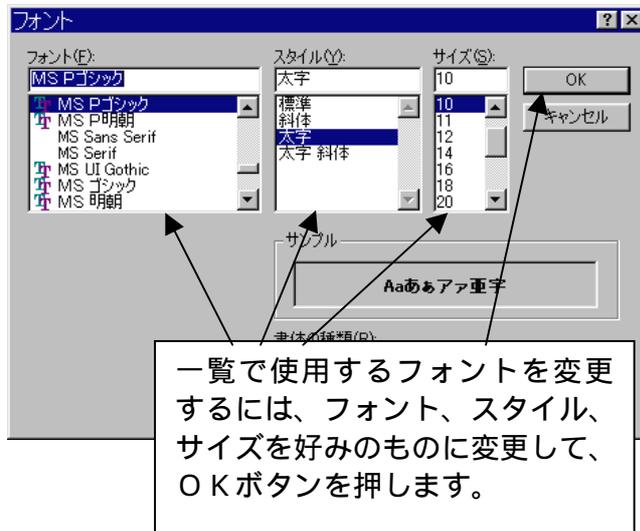


リストの高さを変更する

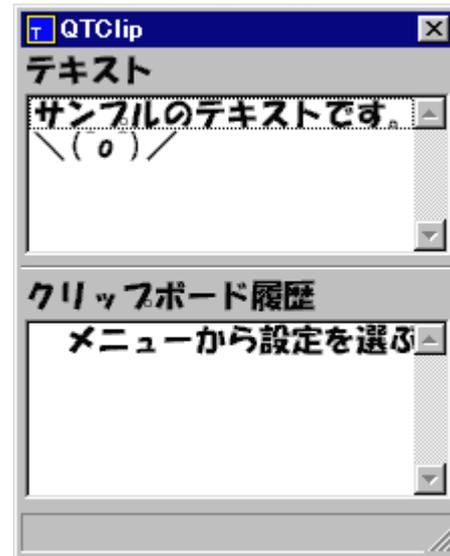


4.19. 一覧のフォントを変更する

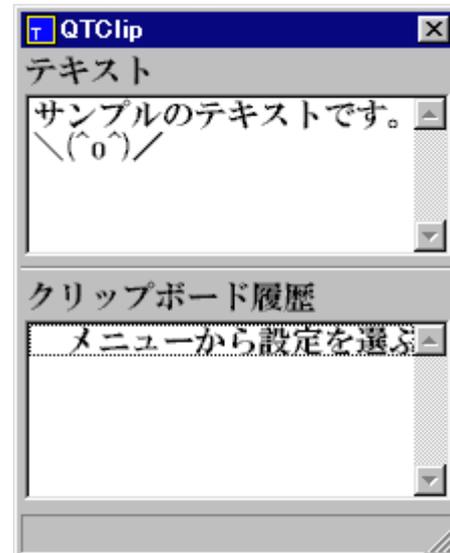
メニューからフォント設定を選ぶと以下のダイアログが表示されます。



HG 創英角ポップ体 の例



HGS 明朝 E の例



4.20. よくある質問

Q MS-Word (97以降)で切り取り(Ctrl X)を行うと、アプリケーションエラーが発生します。

A Wordの問題です。
設定ダイアログで、**Wordで不具合が発生するので対処する**をチェックすることにより回避できます。ただし、確実に回避できるかどうかは怪しいです。

Q クリップボードにコピーしても、クリップボード履歴一覧の表示が変わりません。

A QTClipの他にクリップボードを監視するアプリケーションがあると正しく動作しない場合があります。
QTClip アプリAの順に起動したときは動作せず、アプリA QTClipの順に起動したときは正常動作するのであれば、アプリAに問題があります。

Q 次回起動時にクリップボード履歴の内容を引き継ぎたい。

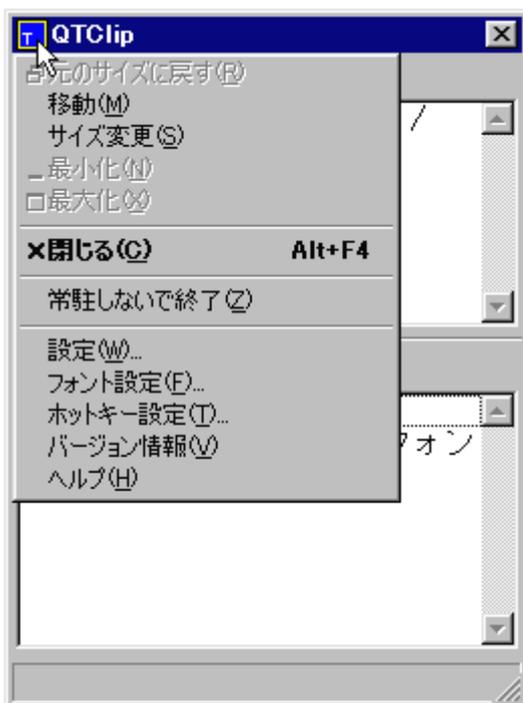
A -w オプションを使用してください。
参照 5.7コマンドラインオプション

Q 起動時にメインウィンドウを表示したくない。

A **実行時の大きさを最小化**にしてショートカットを作成してください。
参照 2.4ショートカットの作成

5. リファレンス編

5.1. システムメニュー



移動・サイズ変更

メインウィンドウを移動・サイズ変更します。

閉じる

メインウィンドウを閉じます。常駐アイコンは残ります。

Shift を押しているとき、QTClip を終了します。

常駐しないで終了

QTClip を終了します。

設定

設定ダイアログを表示します。

フォント設定

フォント設定ダイアログを表示します。

ホットキー設定

ホットキー設定ダイアログを表示します。

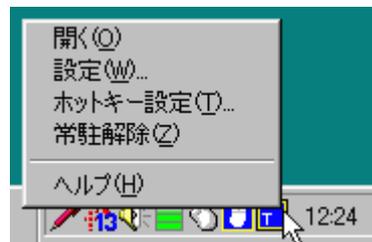
バージョン情報

QTClip のバージョン情報を表示します。

ヘルプ

ヘルプを表示します。

5.2. 常駐アイコンの右クリックメニュー



開く

メインウィンドウを表示します。

設定

設定ダイアログを表示します。

ホットキー設定

ホットキー設定ダイアログを表示します。

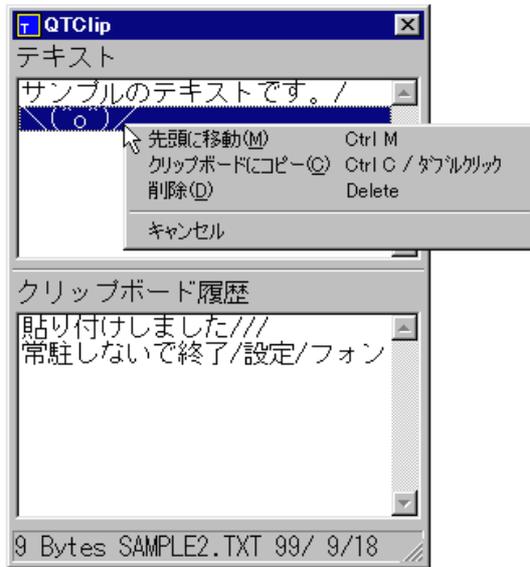
常駐解除

QTClip を終了します。

ヘルプ

ヘルプを表示します。

5.3. テキスト一覧上での右クリックメニュー



先頭に移動

選択した項目を一覧の先頭に移動します。

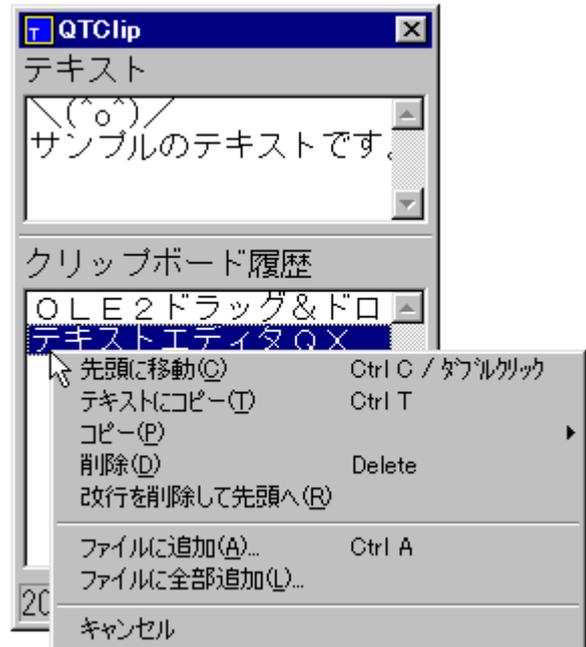
クリップボードにコピー

選択した項目をクリップボードにコピーします。

削除

選択した項目を削除します。
削除してもよいか確認があります。

5.4. クリップボード履歴一覧上での右クリックメニュー



先頭に移動

選択した項目をクリップボードにコピーします。同時に一覧の先頭に移動します。

テキストにコピー

選択した項目をテキスト一覧にコピーします。

コピー

選択したテキストをテキスト保管 2 にコピーします。

削除

選択した項目を削除します。

改行を削除して先頭へ

選択した項目から改行を削除してクリップボードにコピーします。同時にリストの先頭に移動します。

ファイルに追加

選択した項目をファイルに追加します。

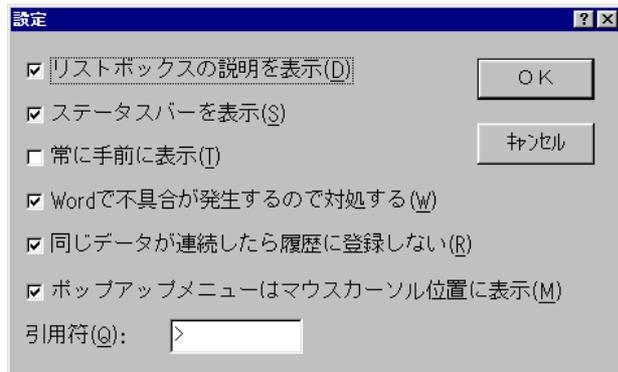
ファイルに全部追加

クリップボード履歴一覧の内容をすべてファイルに追加します。

一覧上でスペースキーを押すと、選択した項目のテキストをポップアップ表示します。

5.5. 設定ダイアログ

メニューから設定を選ぶと以下のダイアログが表示されます。



リストボックスの説明を表示

チェックすると、リストボックスの上にリストボックスの説明を表示します。

ステータスバーを表示

チェックすると、最下部にステータスバーを表示します。

常に手前に表示

チェックすると、QTCIip を常に手前に表示します。

Word で不具合が発生するので対処する

チェックすると、Word で切り取りを行ったときに発生する不具合に対処します。

同じデータが連続したら履歴に登録しない

チェックすると、同じデータが連続してクリップボードに記録されたときに履歴に登録しません。

ポップアップメニューはマウスカーソル位置に表示

チェックすると、ポップアップメニューをマウスカーソル位置に表示します。

チェックしないと、ポップアップメニューをテキストカーソル(キャレット)位置に表示します。ただし、アプリケーション(MS-Word など)によっては、テキストカーソル位置を取得できないので、そのときはマウスカーソル位置に表示します。

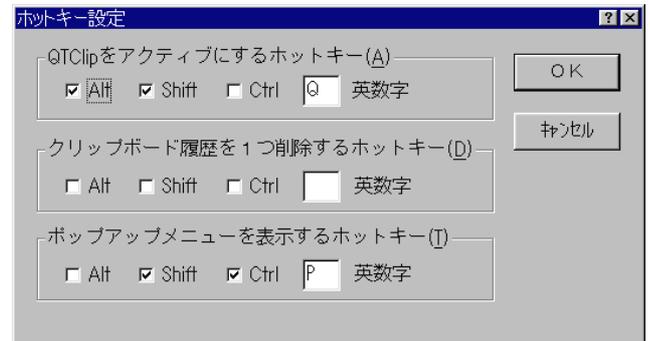
この機能は Windows98, Windows NT 4.0 SP3 以降でのみ有効です。Windows 95 や Windows NT 4.0 SP3 より前のバージョンの時は常にマウスカーソル位置に表示されます。

引用符

ポップアップメニューからクリップボード履歴の貼り付けをするときに、Ctrl を押しているところで設定した引用符をつけて貼り付けます。

5.6. ホットキー設定ダイアログ

メニューからホットキー設定を選ぶと以下のダイアログが表示されます。



QTCIip をアクティブにするホットキー

QTCIip をアクティブ(メインウィンドウを表示)にするホットキー操作です。

クリップボード履歴を1つ削除するホットキー

クリップボード履歴を1つ削除するホットキー操作です。

ポップアップメニューを表示するホットキー

ポップアップメニューを表示するホットキー操作です。

ホットキー(hot key)とはある処理を行うキー操作のことで、他のアプリケーションがアクティブなときでも有効です。ショートカットキーと呼ばれることもあります。

5.7. コマンドラインオプション

コマンドラインオプションを使用すると、QTClip 起動時に、動作を変更することができます。

-I filename
ポップアップメニューに使用するテキストファイル名
指定しないと QTCLIP.TXT

-Tx
テキスト一覧に保存できる数(x=10 ~ 1000)
指定しないと 100

-Cx
クリップボード履歴一覧に保存する数(x=1 ~ 500)
指定しないと 50

-P filename
プロファイルのファイル名
指定しないと ホームディレクトリにある QTXTCLIP.INI
プロファイルとは QTClip の設定情報が保存されるファイルのことです。

-Q
強制的に QTClip をもう一つ起動する。

-D directory
テキストを保管するディレクトリ名
指定しないと TEXT

-H directory
ホームディレクトリのディレクトリ名。
指定しないと qtxtclip.exe のあるディレクトリ

例 -Hd:%qtclip%home とすると、qtxtclip.ini、qtclip.txt、テキスト保管するディレクトリはすべて d:%qtclip%home にあるものを使用します。

1 台のマシンで複数の人がログインするような場合、このオプションにより環境を分けることができます。

ホームディレクトリとは QTClip がディレクトリを参照するときの基準となるディレクトリのことです。

-Wx

QTClip 起動/終了時にクリップボード履歴を読み込む/保存する数

このオプションを指定すると、QTClip 終了時にはクリップボード履歴を x 個ファイルに保存します。そして、次回 QTClip 起動時に x 個読み込みます。これにより、クリップボード履歴は前回終了時のものに復元されます。

このオプションを指定しないと、クリップボード履歴は一切保存しません。

注意点

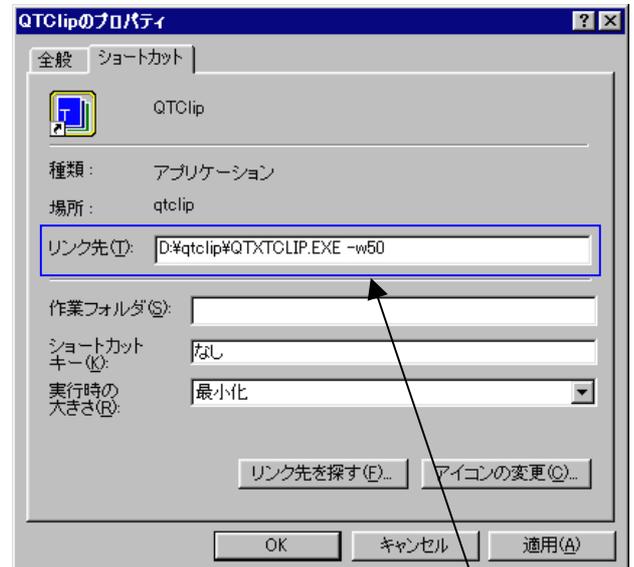
- ・ -T, -C とも、あまり大きくするとメモリを消費するのほどほどに。
- ・ オプション文字は大文字でも小文字でも構いません。例 -t100 と -T100 は同じです。

例

d:%qtclip%qtxtclip.exe -C40

として起動すると、クリップボード履歴の数が 40 になります。

setupQTclip.exe を実行したときは -w50 が設定されています。



オプションは qtxtclip.exe の後ろに半角スペースを 1 つおいて記述します。

6. その他

6.1. 免責事項

本プログラムを使用した結果、いかなる損害が生じても、作者は責任を負いません。

6.2. サポートについて

「クリップボード履歴 QTClip」はフリーソフトです。

以下の場所でサポートを行っています。

サポートフォーラム

<http://0ban.com/forum/list.cgi>

QX Mailing List

詳細は

<http://www2k.biglobe.ne.jp/~araken/> をご覧ください。

転載等のお問い合わせはこちら

arai@mti.biglobe.ne.jp

このドキュメントは 2001 年 7 月 1 日現在の情報に基づいて作成されています。